

S-Stage eco ボアアップキット 88cc 取扱説明書

製品番号	01-05-0017 (H シリンダー / カム付)
	01-05-5099 (H シリンダー / カム無)
	01-05-0018 (V シリンダー / カム付)

適応車種及び フレーム番号	モンキー / ゴリラ	(Z50J-2000001 ~) (AB27-1000001 ~ 1899999)
	モンキー BAJA	(Z50J-1700001 ~)
	JAZZ	全車
	マグナ 50	全車
	ベンリー CD50/GL50/50S	(CD50-1500001 ~)
	ダックス	(AB26-1000001 ~)
	スーパーカブ 50	(C 50-9000001 ~ 0095210) (C 50-0200001 ~ 0999999) (C 50-2100001 ~ 2299999) (AA01-1000001 ~ 1699999)
	リトルカブ	(C 50-4300001) (AA01-3000001 ~ 3699999)
	XR50R	全車
	CRF50F	(AE03-1400001 ~ 2299999)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、
予めご了承下さい。

スパークプラグについてのご注意

スパークプラグは必ず CR8HSA (NGK) または、U24FSR-U (DENSO) に交換して下さい。尚、抵抗無しプラグの場合は C8HSA (NGK) または、U24FSR-U (DENSO) に交換して下さい。スパークプラグ電極部の焼け具合により個々に合った番数を決定して下さい。

スプロケットについてのご注意

当製品を取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の摩耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。スプロケットのハイギア化を行って下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎この製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ◎この取扱説明書記載の取り付け要領はモンキー / ゴリラやスーパーカブ 50 の車両を主体としており、他の車両には合わない場合があります。
- ◎ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
- ◎Vシリンダーの場合はノーマルキャブレターが干渉します。ノーマルキャブレター取り付けの際には干渉部分を加工して下さい。
- ◎ノーマルキャブレターを装着される方は、エアクリーナーボックスおよび、エアクリーナーエレメントは取り外さないで下さい。キャブレターを交換される方は、個々に合ったセッティングを行って下さい。この事柄を無視した場合、エンジントラブルが起こり、重大な事故につながる恐れがあります。

! 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- 作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります。)
- ※シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行って下さい。
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

! 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又はサービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

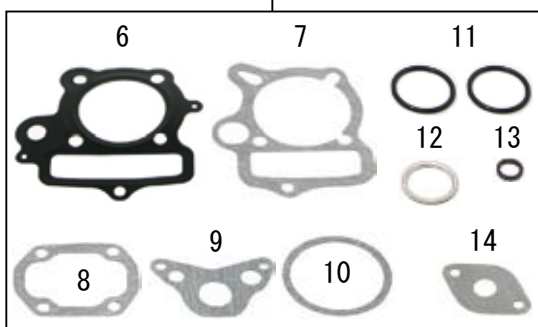
- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
お問い合わせ専用ダイヤル : 0721-25-8857

01-02-0147: ピストンキット

01-13-0608: ガスケットキット

5
H シリンダー5
V シリンダー

番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	ピストン	1	13101-NSH-T10
2	ピストンリング	1	01-15-014
3	ピストンピン 13x36	1	00-01-0091 (クリップ付)
4	ピストンピンサークリップ	2	00-01-0003 (6 ケ入り)
5	シリンダー (H シリンダー)	1	01-01-0241H
6	シリンダーヘッドガスケット	1	01-01-0222
7	シリンダーガスケット	1	12251-GFL-T10

番号	部 品 名	個数	リペア品番
8	ヘッドカバーガスケット	1	00-01-0156 (2 ケ入り)
9	右サイドカバーガスケット	1	00-01-0157 (2 ケ入り)
10	左サイドカバーガスケット	1	00-01-0158 (2 ケ入り)
11	タペットキャップ O リング	2	00-01-0034 (4 ケ入り)
12	エキゾーストパイプガスケット	1	00-01-0064 (2 ケ入り)
13	ラバーパッキン	1	00-01-0066 (2 ケ入り)
14	インレットパイプガスケット	1	00-01-0159 (2 ケ入り)
15	カムシャフト	1	01-08-0009

※ 01-05-5099 には 15 カムシャフトは付属しません。

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

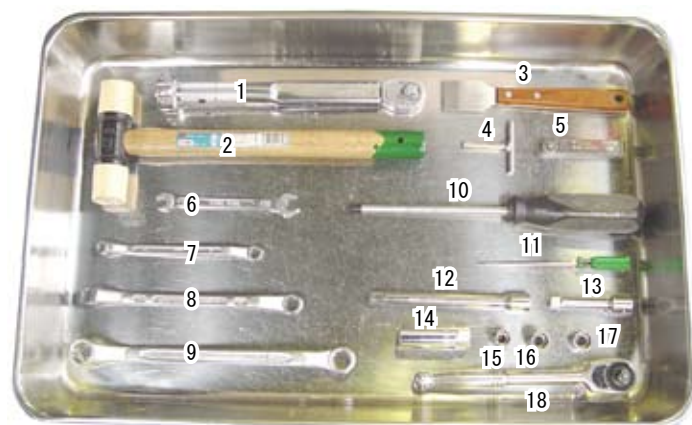
作業の前に

- 作業を行う前に車両は水平な場所で確実に安定させて下さい。スーパーカブ 50 等はセンタースタンドを使用し、モンキー等は備え付けのサイドスタンドで車両を支えるよりもレーシングスタンド等の使用をお勧めします。車両を確実に安定させながら作業を行うことが出来ます。
- 作業は必ずエンジンを停止させた上に冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。
- フューエルコックは OFF にして下さい。
- 再使用するボルトやナットや各パーツは取り外した際にホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにして下さい。
- 取り外したボルトやナットや各パーツは無くさないよう、どの場所に使用するのかわかるように保管して下さい。

工具について

- 正しい工具を正しく使用しない場合はボルトやナットや各パーツのかかり部分やネジ部分が破損する場合があります。
- 取り付けの経験が無いほど正しい工具が必要です。また、それらを正しく使用する経験も同様に必要です。準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- 当製品の取り付けに使用する工具等を下記に掲載しますので参考にして下さい。なお、車種やその年代により工具の内容が異なる場合がありますのでご了承下さい。

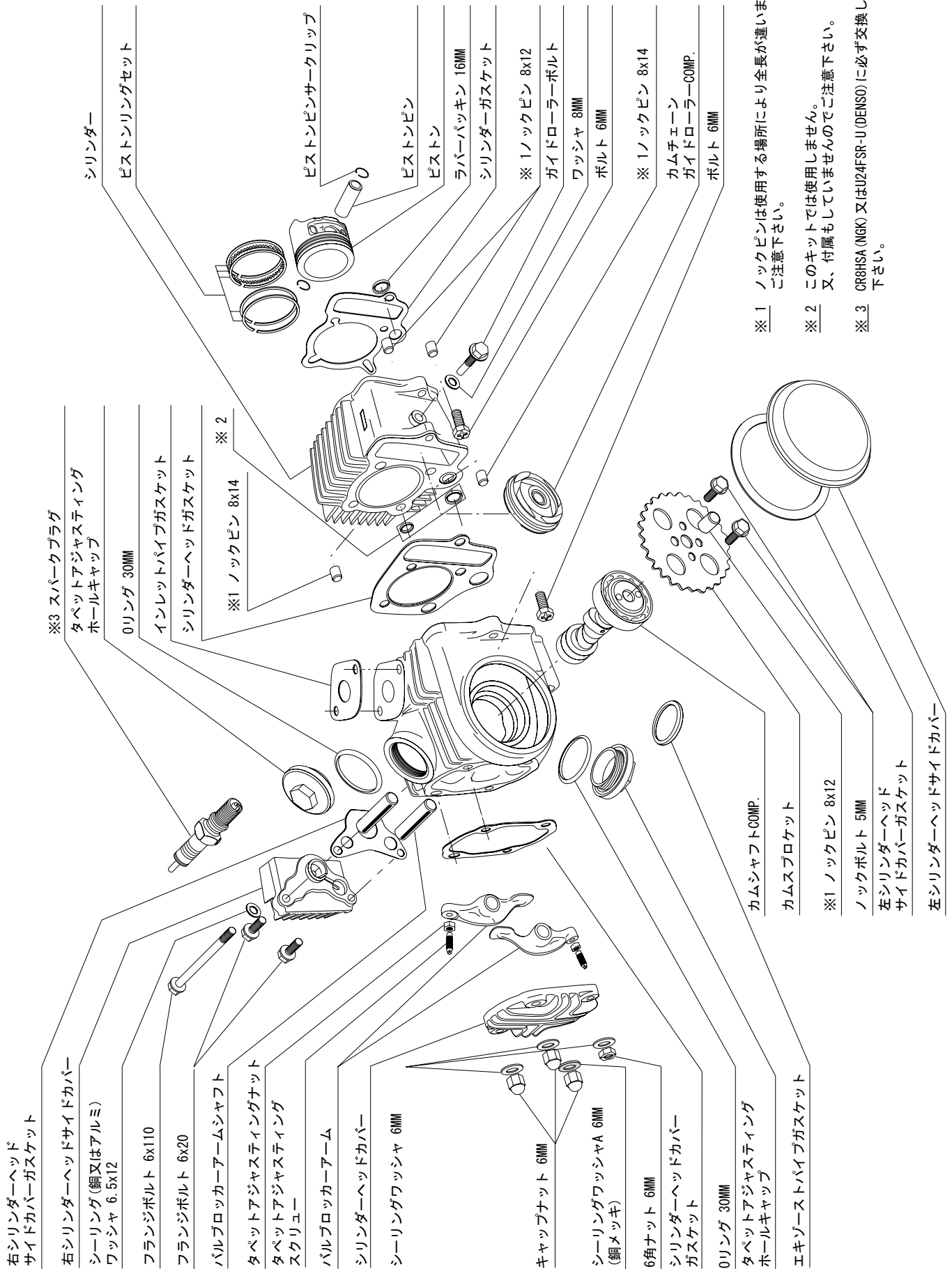
※工具は同じ名前のもので数々のメーカーや種類があったり、同じ工具でも名前が違ったりします。また、好みもありますので参考程度でお考え下さい。



1	トルクレンチ	11	マイナスドライバー 極細先
2	プラスチックハンマー	12	エクステンションバー 中
3	スクレーパー	13	エクステンションバー 小
4	タペットアジャストレンチ	14	プラグソケット 16mm
5	シクネスゲージ	15	ソケット 8mm
6	スパナ 8-10	16	ソケット 10mm
7	メガネレンチ 8-9	17	ソケット 12mm
8	メガネレンチ 10-12	18	ラチェットレンチ
9	メガネレンチ 14-17		ウエス
10	プラスドライバー サイズ 1		エンジンオイル (塗布用)

ボルトについて

- 普通、ボルトとナットは反時計方向に回すと緩み、時計方向に回すと締まります。
- ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まる場所まで締めましょう。
- ネジを緩めるということは、締まっている状態から 3 ~ 4 回転反時計方向に回すことを言い、取り外すということはネジが取れるまで反時計方向に回すことを言います。
- ネジを締めるということは、ネジを緩まないように締めることを言います。ただ、ボルトは強く締め過ぎると折れ、弱過ぎると走行中に振動等で緩んで部品脱落の恐れがあり、大変危険です。ボルトが折れない・緩まないような締める力を数値として表したのが規定トルクです。また、その数値はボルトの大きさによって変わります。
- トルクレンチを用意することが出来ない方は折れない・緩まない力でネジを締めれるのであれば試して下さい。但し、弊社では責任を負いません。トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めるかと折れるのか、緩むのかは経験と勘でしか補えません。



※1 ノックピンは使用する場所により全長が違います。
ご注意ください。

※2 このキットでは使用しません。
又、付属もしていませんのでご注意ください。

※3 CR8HSA (NGK) 又はU24FSR-U (DENSO) に必ず交換して
下さい。

ご使用前に

① お願い

- ◇一般公道を走行される場合は小型2輪以上の免許を取得し、市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。
※原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり運転者ご本人が罰せられる対象となります。
- ◇キット内の原付2種マークをお貼り下さい。

② スプロケットの変更

- ◇当製品を取り付けると出力がアップし、ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて扱いにくい状態になります。また、各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあるために必ずドライブ/ドリブンスプロケットを変更し、スプロケットのハイギア化を各自で行って下さい。
- ※スプロケットはキット内に含まれておりません。
- ※スプロケットはクラッチ形式やホイールサイズにより変わります。下の表を参考にして下さい。また、体重や使用用途、好みによるものもありますので参考程度でお考え下さい。
- ※ドリブンスプロケットを変更する時はリアホイール周りを取り外します。レーシングスタンド等で車両を確実に支え、リアホイールを浮かせて作業を行って下さい。

S-Stage eco（カム付）推奨スプロケット（体重 65kg 時）

車種	仕様			推奨スプロケット	
	リアホイールサイズ	クラッチ	トランスミッション	ドライブスプロケット（フロント）	ドリブンスプロケット（リア）
12V モンキー・ゴリラ	8 インチ	マニュアル	4 速	16	23
		強化スペシャル	4 速	16	25
	10 インチ	マニュアル	4 速	16	25
		強化スペシャル	4 速	16	28
ベンリー CD50/CL50/50S	17 インチ	マニュアル	4 速	16	42、43（ノーマル）
マグナ 50		マニュアル	4 速	16	33
ジョルカブ	10 インチ	遠心	4 速	16	31
12V ダックス	10 インチ	遠心	3 速	16	31
スーパーカブ 50	17 インチ	遠心	4 速	16	42（ノーマル）
			3 速	16	35
リトルカブ	14 インチ	遠心	4 速	16	41（ノーマル）
			3 速	16	35

- ◇ノーマルのスプロケットから推奨スプロケットに変更すると調整だけではドライブチェーンのたるみを無くすることが出来ない、または足りなくなる場合があります。チェーンカッター等を使用してチェーンを短くする必要や、新たにドライブチェーンを用意する必要があります。特に、モンキーの場合などはスイングアームの長さによりチェーンの長さも変わります。

更なる性能を発揮させるために

① カムシャフト

カムシャフト無しの 01-05-5099 にぜひ装着して頂きたいお薦めのパーツです。弊社製スーパースポーツカムシャフトはボアアップの本来の性能を有効に引き出す事が可能です。

推奨カムシャフト

スーパースポーツカムシャフト	01-08-0009
スーパースポーツデコンプカムシャフト	01-08-0333

② キャブレター

S-Stage の出力を有効に引き出す、各車種専用のビックボアキャブレターキットを取り付ける事により、更なるパワーアップが可能です。

推奨ビックボアキャブレターキット

車種	品 番
モンキー・ゴリラ	03-05-0056
ベンリー CD50/CL50/50S	03-05-033
マグナ 50	03-05-0054
ダックス	03-05-0057
スーパーカブ・リトルカブ	03-05-0116

③ マフラー

更なるパワーアップには弊社製各種マフラーをご使用下さい。

④ オイルポンプ

出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。大量のオイルを循環し各部の冷却や負担を軽減するスーパーオイルポンプの装着をお薦めします。

推奨スーパーオイルポンプ

車種	品 番
モンキー・ゴリラ	01-16-0066（加工工具付属） 01-16-0065（加工工具無）
ベンリー CD50/CL50/50S	
マグナ 50	
ジョルカブ	
ダックス	
スーパーカブ・リトルカブ	

⑤ オイルクーラー

エンジンに長時間の負荷を与える走行はエンジン発熱量が更に増大します。油温を適切に保ち、高温時に発生する油膜切れ等を防止するオイルクーラーキットの装着をお薦めします。

●外装品等の取り外し

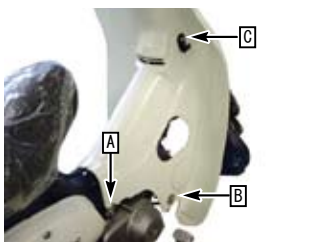
<モンキーの場合>

- ◇フロントフェンダー裏側の6角ボルト2本を取り外す。



<カブの場合>

- ◇A、B、Cのキャップナット、ボルト、ワッシャ、プレート、セッティングカラーを取り外す。左側も同様に外す。



- ◇レッグシールドはまず車両前部を外し、横側に倒す様にするので取り外し易い。



- ◇リトルカブの場合、セッティングカラーと共にスキッドプレートをステップのフック部を外し、取り外す。



●キャブレターの取り外し

<モンキーの場合>

- ◇ガソリタンク左下部にあるガソリンコックをOFFにする。



- ◇フューエルホースと大気ホースを取り外す。



2. ◇ストレージタンクのホース（フレームNo. AB27-の車両の場合）を抜き取る。



- ◇エアクリーナーステー部のボルトを取り外す。



- ◇シリンダーヘッドとインレットパイプを止めているボルト2本を取り外す。

- ◇スロットルケーブルを取り付けたまま、キャブレター ASSY. を左前方のウインカーに引っかけておく。



<カブの場合>

- ◇キャブレター左下部にあるガソリンコックをOFFにする。



- ◇ドレンコックを開き、フロートチャンバーからガソリンを受け皿に抜き取る。

⚠ 警告：ガソリンの取り扱いに注意。



- ◇ガソリンを抜き取った後、ドレンコックを閉じる。

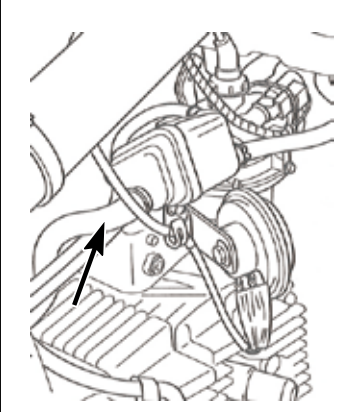
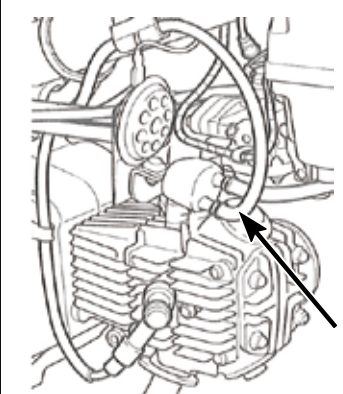
- ◇フューエルコックの2つのネジを取り外し、フューエルコックを取り外す。



- ◇大気ホースをフレームから抜き取る。



- ◇ストレージタンクにつながるブリーザーホース（フレームNo. AA01の車両の場合）を抜き取る。
※車両により形式が異なるので、下図を参照し抜き取る。



- ◇キャブレターヒータ（装着車の場合）の配線2本の接続を外す。



- ◇ホーンの配線の接続を外す。



- ◇シリンダーヘッドとインレットパイプを止めているボルト2本を取り外す。



- ◇ダクトを上引っ張り外す。



- ◇エアクリーナーのボルトを左右両側とも取り外す。



- ◇ワイヤーを束ねているベルトを外す。



- ◇スロットルケーブルとチョークケーブルを取り付けたままキャブレター ASSY. を車体から離し左前方のウインカーに引っかけておく。

●マフラーの取り外し

<モンキーの場合>

- ◇エキゾーストパイプ部のナット 2 個を取り外す。



- ◇マフラー本体を止めている 6 角ボルトを取り外す。



- ◇マフラー本体裏側に止まっているナットを取り外す。



- ◇フランジのカラー 2 個を取り外し外側に引く様にしてマフラーを車体から取り外す。



<カブの場合>

- ◇EXパイプ部のナット 2 個を取り外す。



- ◇マフラスターのフランジナット / ワッシャを取り外す。



- ◇マフラーを外側に引く様にして車体から取り外す。
この時、ステー部のカラーとヘッド部のリング状のマフラーガスケットを無くさないように注意する。



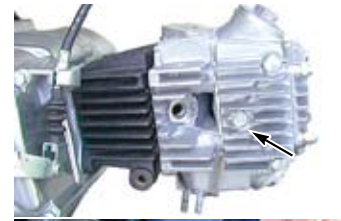
●スパークプラグの取り外し

- ◇プラグキャップをプラグから引く張って取り外す。
必ずキャップ部分をつかんで引く張って外す。
◇車載工具のプラグレンチを使いプラグを取り外す。



●カムスプロケットの取り外し

- ◇シリンダーヘッド右カバーの真ん中の 6 角ボルトを外すと左カバーが外れる。(ボルトを外しても外れない場合 6 角ボルトを 2 ～ 3 山ねじ込み 6 角ボルトの頭をハンマー等で軽くたたくと外れる)



- ◇シフトペダルの 6 角ボルトを外しチェンジペダルを取り外す。



- ◇クランクケース左カバーを止めているボルト 3 本を取り外す。



<カプセル付の場合>

- ◇タイミングホールキャップ、クランクシャフトホールキャップを取り外す。



- ◇タペットキャップ 2 個を取り外す。



- ◇フライホイールの T マークとカムスプロケットの 0 マークが各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。



セル付



- ◇フライホイールを固定しカムスプロケットのボルト 2 個を取り外す。



セル付



- ◇カムプロケットを小型のマイナスドライバー等でこじてカムシャフトから外す。
◇カムスプロケットをカムチェーンから取り外して、取り出す。



- ◇カムシャフトの中心部にはまっているノックピンを外す。

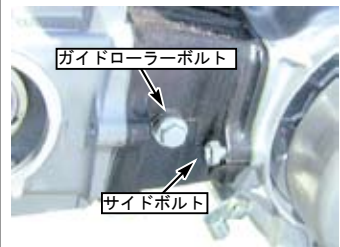


●シリンダーヘッド、シリンダー、ピストンの取り外し

- ◇シリンダーヘッドとシリンダーを止めているシリンダーヘッドサイドボルトを取り外す。



- ◇シリンダーのガイドローラーボルトとシリンダーとクランクケース間のサイドボルトを緩める。



◇シリンダーヘッドカバーを止めているナット4個を対角の順番に数回に分けて緩めて取り外す。
◇ナット下にあるワッシャー4枚を取り外す。



◇ヘッドカバーを取り外す。
(かたい場合はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)
◇シリンダーヘッドにガスケットが残った場合は、スクレーパーできれいに取り除く。



◇モンキーの場合はフロントタイヤの空気を抜く。(ドライバーの先等でバルブを押すとエアが抜けるのでシューという音が出なくなるまで押し続ける。)



◇シリンダーヘッドをシリンダーから前方へ引っ張って取り外す。
(かたい場合はシリンダーヘッドをプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)



◇モンキーの場合は、フロントタイヤを押しながらシリンダーヘッドを取り外す。



◇緩めておいたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを取り外す。



◇シリンダーを引っ張って取り外す。
(かたい場合はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外す。)



◇シリンダーを抜く途中でカムチェーンガイドローラーが出てくる。



◇モンキーの場合、タイヤを手で押さえながらシリンダーを取り外す。



◇クランクケースのシリンダーホールとカムチェーン部にゴミや部品などを絶対落とさないようにウエスを詰め込む。



◇ピストンピンサークリップの片側を取り外す。
◇ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじると外れる。



◇ピストンピンをサークリップが付いていない方向へ取り外す。
サークリップの付いている方向からマイナスドライバーで押すと簡単にとれる。

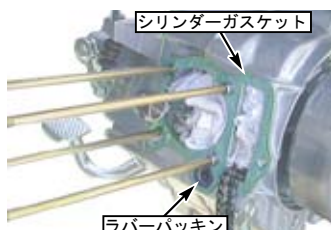


◇ピストンを取り外す。



◇シリンダーガスケットやラバーバックンを取り除く。
◇ガスケットがきれいにはがれない場合は、スクレーパーできれいに取り除く。

◇この時クランクケースセンターガスケットがシリンダーベース面やシリンダーホール部にはみ出ている場合は切り取っておく。
※クランクケース内にゴミや部品などを絶対落とさないように。

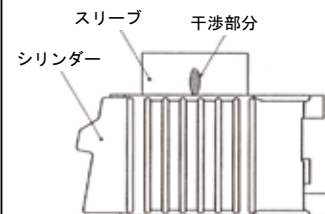


◇下写真の指さし部にはみ出ているガスケットがあれば切り取っておく。

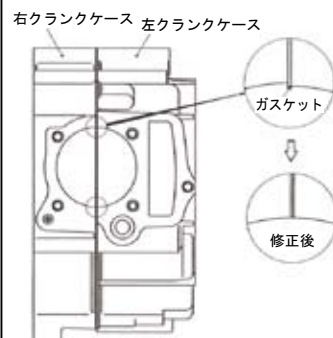


●クランクケースの干渉の確認と修正

◇ノックピン2個をクランクケースに取り付けて、付属のシリンダー単体をクランクケースに取り付ける。
クランクケースとシリンダースリーブの干渉を確認する。
◇以下は左右クランクケース合わせ部が干渉した場合の修正例を述べる。



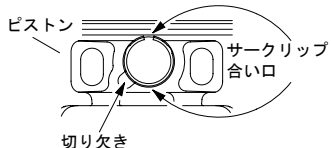
1. クランクケース内に削り粉が入らないようにしっかりとウエスを詰める。
2. クランクケース合わせ面のズレの出っ張っている部分を引っ込んでいる部分と同じ高さになるまでヤスリで削り修正する。



3. 削り取ったら削り粉がクランクケース内に入らないよう慎重にウエスを取り除く。
4. ウエスを取り除いた後は、きれいなウエスをクランクケースの穴に詰めておく。
5. キットの組立が終わってエンジンをアイドリングで数分かけた後、すぐにエンジンオイルを新品に交換する。

●ピストンの組み付け

◇ピストンの片側に付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。
この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて、ピストン上下方向に向けて取り付け。

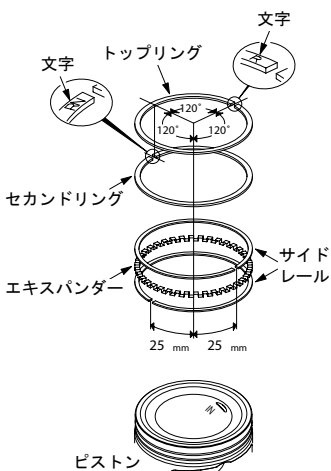


左側

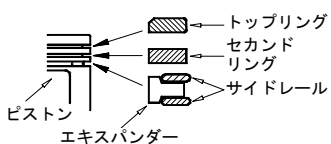
◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられる。

◇ピストンリング溝にエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。

◇ピストンリングの合い口をそろえる。



トップリングおよびセカンドリングは文字面を上にして取り付け。トップリングは銀色、セカンドリングは黒色になっているので注意する事。



◇オイルリングエキパンダーを入れる。



◇下オイルリングサイドレールを入れる。



◇上オイルリングサイドレールを入れる。



◇文字面を上にしてセカンドリング（黒色）を入れる。



◇文字面を上にしてトップリング（茶色）を入れる。



◇ピストンピン部とコンロッドにエンジンオイルを塗りピストンピンを取り付ける。



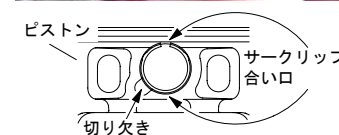
◇ピストンヘッド部“IN”文字が上（インテーク側）になるようにしてピストンを取り付ける。



◇ピストンに三分の一程度ピストンピンを挿しておいて取り付けるのも簡単な方法ではある。



◇付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて、ピストン上下方向に向けて取り付け。



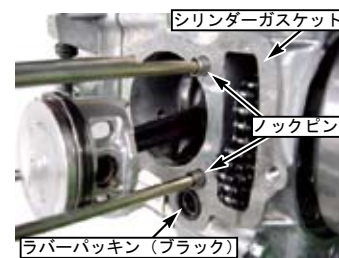
◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられる。
※押し込み中にサークリップが外れて飛んでしまう事があるので慎重に行う事。

◇詰めていたウエスを取り外す。

●シリンダーの取り付け

◇シリンダーベースガスケット面のシリンダー側とクランクケース側をシンナー等で脱脂する。

◇ノックピンB（長さ12mm）2個が付いているか確認し、シリンダーガスケットとラバーパッキン（ブラック）を1個取り付ける。



◇キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し指で均等に塗り広げる。



◇タイヤを押さえながらシリンダーを入れていく。



◇シリンダーをピストンリングの合い口がずれない様にしながら指で押し少しずつはめる。



◇リングがシリンダーに入ったらカムチェーンをシリンダーに通しシリンダーをクランクケースにはめる。



◇カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーを入れる。



◇シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込み、シーリングワッシャーとガイドローラーボルトを取り付ける。（指で閉まる程度まで仮止め）



◇シリンダーサイドボルトを取り付ける。（指でしめる程度まで仮止め）



●カムシャフトの交換

◇シリンダーヘッドに組み込まれているロッカーアームのアジャストナットとボルトを取り外す。アジャストナットを緩めた時点でタペットボルトをナットと一緒に取り外す。



◇カムシャフトにカムプロケットボルトを取り付け、引っ張るかプラスチックハンマーでヘッドを軽くたたきと抜けてくるので無理に引っ張らずカムシャフトを回しながら取り外す。



◇キット内のカムシャフトのカム部とベアリング部にきれいなエンジンオイルを塗る。



◇キット内のカムシャフトを逆の手順で取り付ける。入りにくくてもハンマー等でたたかず手で入れる。

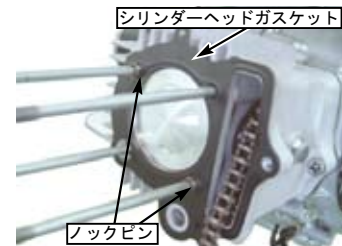


◇ロッカーアームのアジャストスクリューとアジャストナットを取り付ける。



●シリンダーヘッドの取り付け

◇シリンダーヘッド面とシリンダー上面をシンナー等で脱脂する。
◇シリンダーにノックピンA(長さ14mm)2個、シリンダーヘッドガスケットを取り付ける。



◇モンキーの場合は、タイヤを手で押しながらシリンダーヘッドをスタットボルトに通す。
◇シリンダーヘッドにカムチェーンを通して取り付ける。



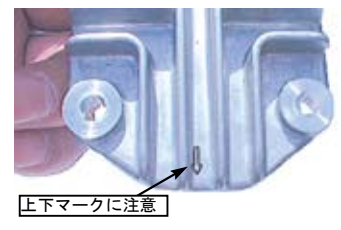
◇カムチェーンはシリンダーの方に落ちないようにカムシャフトの真ん中の穴にドライバー等を入れてカムチェーンを止めておく。



◇シリンダーヘッドカバーのガスケットとヘッドカバーを取り付ける。



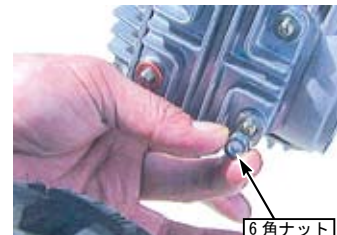
◇矢印は下の方向(エキゾースト側)になる事。



◇ヘッドカバーのワッシャを位置に注意して取り付ける。(エンジンを前から見て左下に銅ワッシャがくる事。)



◇ヘッドナットを位置に注意して取り付ける。(エンジンを前から見て右下に6角ナットがくる事。)



◇ヘッドナットを対角に数回に分けて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ヘッドナット
トルク：11N・m (1.1kgf・m)



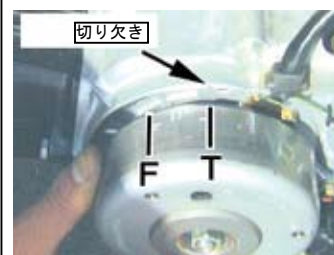
◇シリンダーヘッドのサイドボルトを取り付け、仮止めたガイドローラーボルトとシリンダーのサイドボルトも締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ガイドローラーボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)
サイドボルト上下
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



●カムプロケットの取り付け

◇フライホイールのTマークをクランクケースの切り欠き部に合わせる。



＜カプセル付の場合＞



◇カムプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向けた時、カム山がピストン側を向く様にカムシャフトをセットする。それがカムシャフトの圧縮上死点となる。

※オプションカム取り付けの場合、オプションカムの説明書の指示に従う事。



◇カムシャフトにノックピンを取り付ける。



◇チェンジペダルのシャフトの横にある6角ボルトを取り外す。カムチェーンを引っ張っているテンショナーが緩むのはめやすくなる。



少しオイルが出てくるので締め後は拭き取る事。

◇カムプロケットの0マークとシリンダーヘッドの切り欠き部が合う様にカムチェーンをはめてカムシャフトに取り付ける。



◇カムプロケットをはめた後はボルトを取り付ける。



◇フライホイールを固定してカムプロケットボルトを2本締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
カムプロケットボルト
トルク：9N・m (0.9kgf・m)



＜カプセル付の場合＞

セル付



◇先程、取り外したチェンジペダルシャフト横のボルト穴にエンジンオイルを少量注入し、6角ボルトとシーリングワッシャを取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
6角ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



●バルブクリアランスの調整

◇カムシャフトの0マークとフライホイールのTマークがそれぞれの切り欠きに合う様に止める。磁石の反発でフライホイールはピッタリと止まらないがカムプロケットを取り付けてTマークと0マークが同時に会えばOK。

切り欠き



0の刻印

シリンダーヘッド側



切り欠き

F T

フライホイール側

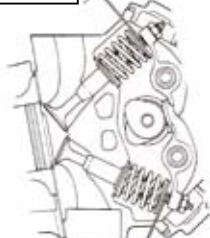
＜カプセル付の場合＞

セル付



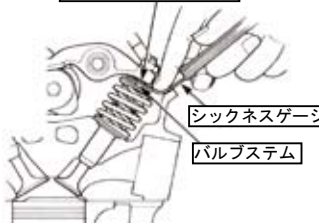
◇ロッカーアームのアジャストスクリューとバルブシステムエンドの間に0.05ミリのシクネスゲージを入れてアジャストスクリューを締め込んでいき、少し抵抗があるくらいでシクネスゲージが引き抜ける様に合わせてアジャストナットを締め付ける（少し抵抗があるというのがわからない場合0.07と0.03のシクネスゲージを用意して0.07がすき間に入らず0.03が緩めに入る様に合わせれば、だいたい0.05ミリという事になる）IN、EX 共に0.05ミリに合わせる。

バルブクリアランス
(インテーク側)



バルブクリアランス
(エキゾースト側)

アジャストスクリュー



シクネスゲージ

バルブシステム



◇タペット調整後、反時計方向にフライホイールを2回転手で回した後でTマークと0マークを合わせる。



◇バルブクリアランスが変化していないか点検する。変化している場合は再度調整し、合うまでこの作業を繰り返す。



◇タペットキャップ2個を取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
タペットキャップ
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



◇シリンダーヘッド左サイドカバーガスケットと左サイドカバーを取り付ける。
(左サイドカバーの回り止めを合わせる)



(回り止めを合わせる)

◇シーリングワッシャとシリンダーヘッド右側の6角ボルト(矢印)を締める。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
6角ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇クランクケース左カバーを止めているボルト3本を取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇チェンジペダルを取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
チェンジペダル
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



＜カプセル付の場合＞

- ◇タイミングホールキャップ、
クランクシャフトホールキャップ
を取り外す。



●スパークプラグの取り付け

- ◇プラグレンチを使いプラグを
取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
プラグ
トルク：11N・m (1.1kgf・m)



- ◇プラグキャップをプラグに取り
付ける。

●ノーマルマフラーの取り付け ＜モンキーの場合＞

- ◇マフラーは、先にテールパイプを
リアショックの内側を通しフラン
ジ部分をシリンダーヘッドの排気
出口付近まで持っていく。



- ◇フランジのカラー 2 個をエキ
ゾーストパイプを挟み込むよう
にして取り付けます。



- ◇エキゾーストパイプ部のナット
2 個を締める。(仮止め)

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



- ◇マフラー本体裏側にナットを取り
付ける。(仮止め)

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



- ◇マフラー本体を止めている 6 角
ボルトを取り付ける。(仮止め)

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
6 角ボルト
トルク：27N・m (2.7kgf・m)



- ◇仮止めの 3 ケ所を締め付ける。

＜カブの場合＞

- ◇マフラーをブレーキペダルと
ステップの間に通し、フランジ部
をシリンダーヘッドの排気出口
付近まで持っていく。

- ◇マフラーガasketをシリンダー
ヘッドとマフラーの間に挟み込む
様に入れる。スイングアーム
ピボットボルト部にカラー、マフ
ラーステーを差し込む。ワッシャ
/ フランジナットを取り付ける。
(指で締まる程度に仮止め)



- ◇EX パイプ部のナット 2 個を締め
る。(仮止め)



- ◇フランジ部と車体を止めるナット
を締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
EX パイプ部ナット 2 個
トルク：10N・m (1.0kgf・m)
ステー部
トルク：36N・m (3.5kgf・m)



●ノーマルキャブレターの 取り付け

＜モンキーの場合＞

- ◇インレットパイプに O リングが
付いている事を確認する。
(フレーム NO. Z50J の車両)



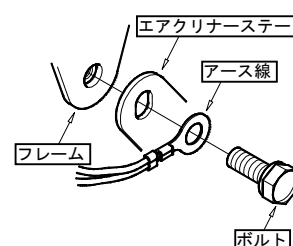
- ◇シリンダーヘッドとインテーク
マニホールドを止めているボルト
2 本を取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



- ◇エアクリーナーステー部のボルトを
アース線と共締めで取り付けます。
(下図参照)

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



- ◇ストレージタンクのホース
(フレーム No. AB27- の車両) を
取り付けます。



- ◇フューエルホースと大気ホース
を取り付ける。



- ◇フューエルコックを ON にする。



＜カブの場合＞

- ◇インレットパイプに O リングが
付いている事を確認する。

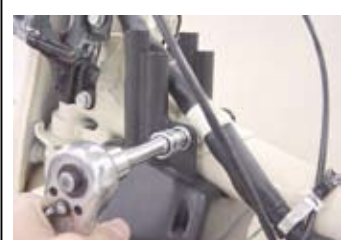


- ◇チョークケーブルとメインハー
ネスをバンドで束ねる。



- ◇エアクリーナーをフレームに
左右のボルトで取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇ダクトを取り付ける。



◇シリンダーヘッドとインテークマニホールドを止めているボルト2本を取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



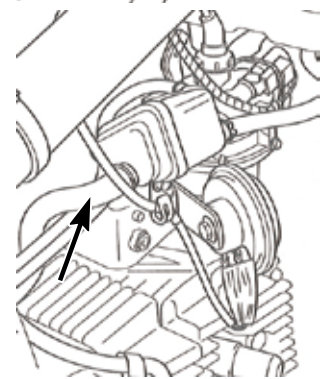
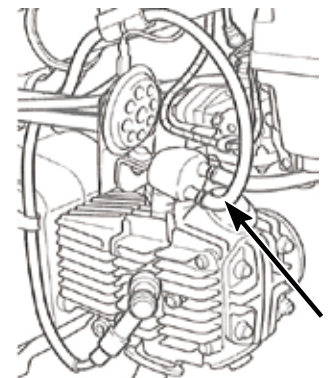
◇キャブレターヒータ（装着車の場合）の配線2本を接続する。



◇大気ホースをフレームに差し込む。



◇ストレージタンクにブリーザーホース（フレーム No. AA01 の車両の場合）を取り付ける。



◇ホーンに配線を接続する。



◇フューエルコックを2本のネジで取り付ける。



◇フューエルコックをONにする。



●外装品等の取り付け

<モンキーの場合>

◇フロントフェンダー裏側の6角ボルト2本を締め付けて取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇タイヤの空気を入れる。

⚠ 注意：必ず規定空気圧を守る事。
空気圧：100kPa (1kg/cm²)

<カブの場合>

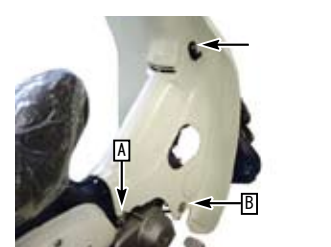
◇リトルカブの場合は、スキッドプレート（フック）をステップバーに取り付け、セッティングカラーと共にセットする。



◇レッグシールドは車両横側から入れると取り付け易い。



◇レッグシールドの後部をフレームに当て、それから前部をはめていく様に取り付ける。



- ・A部にプレート / ワッシャ / M8 キャップナットを取り付け、締め付ける。
- ・B部に M6 長ボルト / 大径ワッシャを、レッグシールドの裏にセッティングカラーを挟んで締め付ける。
- ・C部に M6 ボルト / ワッシャ又はフックを取り付け、締め付ける。
- ・左側も同様に取り付け。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
A : 20N・m (2.0kgf・m)
B、C : 10N・m (1.0kgf・m)



◇エンジンから足廻りまで取り付けたボルト類に緩みがないかチェックする。